

区に協力して、河川環境の整備、改善に努めてほしいが見解はどうか。

刈谷田川土地改良区からは、浚渫を行う基準を堆積物等による閉塞率3割以上としており、現時点では1割程度であると聞いている。今後浚渫が検討される場合に、市では財政事情を鑑みた負担を検討したい。



土砂の堆積が進む大面川（北潟地内）

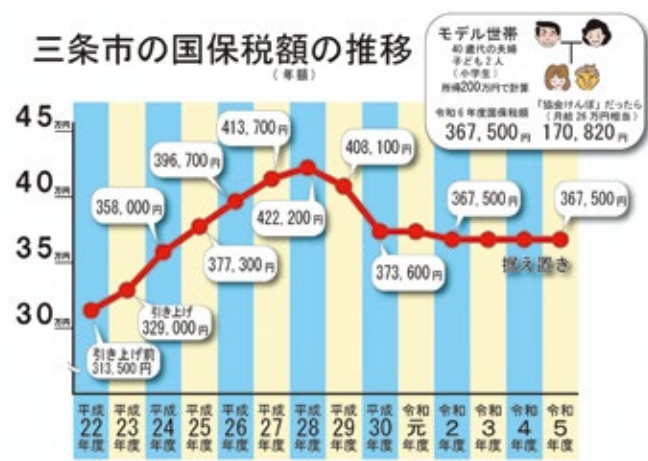
大面地区の鳥獣対策について

Q イノシシ対策について伺う。

A 電気柵の設置、捕獲による個体数管理、緩衝帯の整備等、総合的に進めていくことが重要である。



田んぼに残るイノシシの足跡（吉野屋地内）



自衛隊員募集の名簿提供について

Q 全国で自衛隊員募集に対し、対象年齢の18歳と22歳の個人情報を書いた名簿を提供する自治体が増えている。新潟県では、三条市を含めすべての自治体が応じている。しかし、今年、防衛省は情報の提出は求めているが強制ではないと回答している。個人情報である紙媒体の名簿提供は中止すべきではないか。

A 市は、自衛隊法および自衛隊法施行令、住民基本台帳法に基づき、自

人口が減少する中で、外国人材を活用していくことについて

Q 市の見解を伺う。

A 令和5年10月時点で169事業所で1104人の外国人材が雇用されており、今後も外国人材の活用を進めていくことは避けられないものと認識している。多文化共生社会の実現に向けた取り組みとしては、豪雨災害対応ガイドブックやごみカレンダーの多言語化の実施に加え、外国人と地域住民の交流機会を提供している。



酒井 健 議員の質問

済生会新潟県中央基幹病院周辺の環境整備

Q 病院周辺の道路整備計画について伺う。

A 都市計画道路下須頃上須頃線の最終的な標準幅員は25メートルであり、現在の13メートルは暫定形。市道上須頃262号線の整備効果は長岡方面の負荷分散。西蒲、燕方面からの直接的な渋滞対策ではない。早期に事業効果が発現できるよう進める。

衛官募集は紙媒体で、陸上自衛隊高等工科学校等の募集は閲覧で対応している。今後も、法令に基づき適切に対応していく。



藤家 貴之 議員の質問

観光施策について

Q 観光客に関するデータはどのように分析しているか。

A 毎月、観光施設等に照会し集計している。分析結果を共有することはない。

Q デジタルマーケティングの活用はどのように行っているのか。

A SEO、SEMでは、下田郷ブランドサイトにおいて対策を実施している。また、アクセス分析ツールでは、グーグルアナリティクスを用いて分析を行っている。

Q 観光戦略について伺う。

A アウトドアの聖地としての差別化を推進していく。

Q 観光組織の法人化の必要性について伺う。

A 他市町村の状況や法人化の有効性

八十里越開通

Q 暫定開通時のイベントについて伺う。

A 開通式典、スポーツ・文化等で実施可能なイベントを検討している。

Q 観光施設整備について見解を伺う。

A いい湯らていを観光拠点に位置づけてリニューアルすることや、インフォメーションセンターの設置について検討中。また、直売所、道の駅の在り方を含め検討中。

ごみ処理広域化（加茂市・田上町）

Q 現在の状況を伺う。

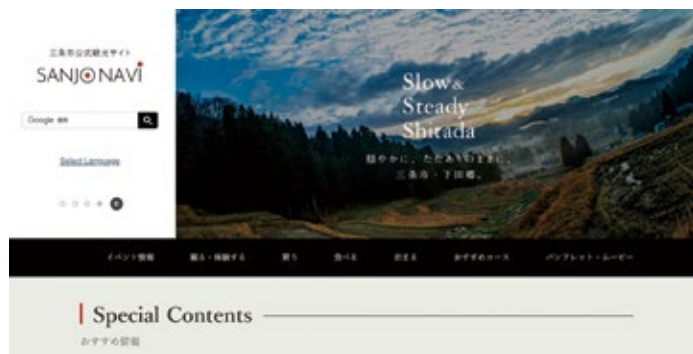
A 8月20日に文書で協議を依頼された。計画ごみ処理量の範囲であれば受け入れは可能。

Q ごみ処理広域化の所見を伺う。

A 人口減少によるごみ処理量の減少が見込まれ、広域化は避けて通れない課題と認識している。

学校給食・保育所等で使用する有機米

等も含め研究していく。



三条市公式観光サイト

学校給食におけるアレルギー対応について

Q 食物アレルギーの児童数はどのように推移しているか。

A 過去5年では2%台で推移しており、要因については容易に特定できない。

Q 学校給食調理場の新たな建設は予定しているか。

A 新たな施設の建設は考えていない。

Q 今年度の買い取り価格を伺う。
A 1等米コシヒカリ30キロ当たり1万5000円から1万5400円の見込み。一般的な価格の算定は困難であり、高い安いの比較は難しい。



小林 誠 議員の質問

国保の現状と今後の見通し

Q 三条市は、国保会計の赤字に対応し、平成23年度から平成28年度まで国保税の連続値上げを実施した。赤字解消後、平成29年度から3回の引き下げ、令和3年度以降は現在まで据え置きが続いている。結果を見れば取り過ぎだったのではないかと。また、国保の都道府県化実施以降、保険料水準の統一を狙っていると言われている。どのように捉えているのか。

A この間の国保税の引き上げは、財政状況の改善と制度を維持する上で最低限必要な対応だった。保険料水準の統一は、新潟県全体の話であり、その動向を注視したい。



西村 邦明 議員の質問

危なげな通学路

Q 裏館小学校正面玄関に面している通学路の歩車分離ブロックが経年劣化で傷んでいたり、事故で削られて低くなっている。急ぎ修理はできないか。

A 指摘の通り、規格を満たしていない箇所が多くある。令和5年度の補正予算により、市道西大割裏門通り2号線の測量設計に着手している。歩車分離の安心安全な通学路として整備を進めていく。

Q 同じ市道を北に向かうと、十字路を起点とする市道新光権現線がある。約50メートルの道路で、幅が狭くなっている。この地域の児童は白山神社の境内で集合し、裏館小学校に集団登校しているが、幅が狭いため車が来ると怖いとさえ思える状況だ。集団登校はいつから始まったのか。通学路の見直しや改善はいかに話し合われているのか。

なお、車に対する注意喚起の看板が1枚設置されているが、見えにくいいため、環境課に新たに1枚設置を提案したところ、直ちに対応してもらえた。感謝している。